



鹿折まちづくり通信vol.34

発行日：平成31年3月15日



平成4年に発足した小梨自治振興協議会は、人口減少や高齢化が進み、地域としての活気が衰退しつつあるという課題から、平成27年に地域内にあるほぼすべての団体に加盟していただき、より大きな組織となって地域協働を進める「**地域協働体**」としての活動をはじめました。

現在は、小梨市民センターを「**地域づくりの拠点施設と市民の憩いの場**」として振興協議会が管理運用することで、地域づくり活動を推進していく中核団体としての活動を続けられています。

視察では、振興協議会の具体的な活動事例や成果、センターの運営方法や現状などを伺った一方で、「**10～20年後の地域のことを誰かが考えていかなければならない**」といった理念・覚悟を力強くお話しいただきました。

新しい地域運営の姿を考える

先進地視察研修事業

～一関市千厩町 小梨市民センター 視察～

2月16日、鹿折地区振興協議会と鹿折まちづくり協議会の共催による視察研修事業が実施されました。

今回の視察では、小梨市民センターの委託管理業務を受けながら、地域の行事や活動を支えている千厩町の「小梨自治振興協議会」に、お話を伺いました。

<地域の行事のご案内>

3月20日(水) 午前10時～

鹿折地区自治会 防災講座

「必ず来る災害から命を守る 一人ひとりの準備と行動」

会場:やすらぎ (主催:気仙沼防災教育推進委員会)

3月31日(日)

第36回河北新報気仙沼つばきマラソン

4月13日(土)

種まき桜 お花見会

4月21日(日)

鹿折地区振興協議会 総会

4月21日(日)・23日(火)

ししれき ～気仙沼大島大橋を歩いて渡ろう/亀山に登ろう～ (主催:鹿折公民館)

※詳細は公民館だよりをご覧ください。



お花見会を開きます

4月13日(土) 午前11時

鹿折ふれあいセンター集合



蔵底に自生している種まき桜(エドヒガンザクラ)の下でお花見しましょう

※おにぎり、飲み物持参

主催…鹿折まちづくり協議会

後援…鹿折公民館・安波会

構成員会合 メンバー募集のお知らせ

毎週火曜日 午後7時～9時/やすらぎにて

まちづくりのコトや事業の計画などを話し合っています。まちづくりに関心のある方の参加をお待ちしております。(見学のみ可)



詳しくは鹿折まちづくり協議会事務局までお問い合わせください(連絡先は裏面に記載)

海洋フォーラム in 鹿折



2月22日、鹿折小学校5年生による学習の発表会「海洋フォーラムin鹿折」が開かれました。

気仙沼の海に関することやその課題について、1年かけて勉強してきた成果の総まとめとして、漁業や水産加工、働いている外国の方とのかかわりなど、小学生の目線によるさまざまな発表やワークショップが行われました。

フォーラムには地元の水産加工会社や造船会社の方なども訪れ、熱意あふれる発表の数々に高い関心を寄せていました。

4年生も見学！
来年は私たちの番！



(児童によるパネルディスカッションも行われました)



ありがとう
ございました

(インタビューにご協力いただいた「造船」チームのみなさん)

海洋フォーラムの発表グループのひとつ、「造船」チームへインタビューを行いました

Q. どうして造船について学ぼうと思ったのですか？
A. 9月にみらい造船の見学に行って、いろいろ学ぼううちに「凄いことをやっている」と気づき、興味が出たからです。



Q. どんなことを勉強しましたか？
A. 船を造る方法や技術を学びました。みらい造船は、ミャンマーにも会社を立ち上げると聞いたのが印象的でした。

Q. 今回深く学んだことは何ですか？
A. もっと造船についていろいろな人に知ってもらいたいと思い、私たちがパンフレットを作成しました。自分も将来はみらい造船に就職して、未来の小学生に造船のことを説明してあげたいです。
(インタビュー協力: 伊藤璃矩さん、村上恭介さん)

壁新聞から未来を語る

～鹿折中学校の取り組みより～

鹿折中学校は、毎年地域のことや社会のことをテーマにした壁新聞を制作しています。

鹿折まちづくり協議会は昨年、3年生の取材依頼を受け、壁新聞作りに協力いたしました。

今回は、完成した壁新聞とまち協を取材してくれた2人に、新聞を作った感じたことを伺いました。

完成した壁新聞は、今後やすらぎや鹿折ふれあいセンターにて掲示される予定です。



私たちが
まちづくり
協議会に
取材しました



壁新聞づくりのためにまち協を取材してくれた3年1組の佐藤紫織さん(左)と村上友哉さん(右)

(まさか逆に取材される
ことになるとは...)

私たちのチームは、鹿折南住宅との交流会を通じて考えたことや感じたことをまとめました。

南住宅では普段あまり人が集まる機会がないと聞きました。交流会のようなイベントがもっと地域に増えること、また私たちのような若者がもっとイベントに参加すれば、まち全体が賑わうんじゃないかなと思いました。

まち協さんには防災のことや、人口減少などの社会問題を教えていただきました。

人口減少や高齢化など、壁新聞を通してもっと多くの人に考えてもらいたいと思いました。



鹿折まちづくり通信に掲載してほしいイベント情報や写真をお待ちしています。お気軽にご連絡ください。

【発行...鹿折まちづくり協議会】

TEL: 080-4510-3395 / Mail: shishiori16@gmail.com